

三月の別れと四月の邂逅が閉じ込められた合格通知

そのくしやみ、

月へ旅立つロケット…
人類の夢詰めこんだ

戦争の始まり告げるキャスターの声の静かなること

なんだね。

日本製乗員一名五月行春間ロケット発射失敗

▷(送信)を押せなかった後悔が吹っ切れずにいる予測
変換

新緑の木の根元から海藻が死体となった匂いがしけり

遺影には免許の写真しかないし綺麗になるまで私は死ねない

『春間ロケット』 竹下太崇

生きるとはジャガイモの芽を捨てること
朝日は今日も西へと沈む

天上にピースを掲げて幸せな子供が集うお昼の校庭

古本の不器用な線を辿るときあらがえなくてわずかに受信機

積み肥つみこえと同じ濃度のコーヒーへミルクの花を咲かせています

異世界が飛び出さぬよう慎重にコピー機の蓋を手のひらで押す

戻らない君と過ごした十月を消し飛ばしける春風が吹く

新緑に網膜組織が慣れたころやっといちヨウが黄色に見える

陽炎の電車が押した空気塊。前髪溶かす優しい春風